
総体報告会 (H28. 6. 7)

現代社会の最大の危機は若者の 3 Yにある、とある新聞のコラム欄に書いてありました。3 Yとは「欲ない、夢ない、やる気ない」だそうです。

世の中の風潮は確かにそうかもしれません。しかし、出雲農林高校の生徒は決してそうではない。「勝ちたいという欲を持ち、優勝するという夢を持ち、精一杯努力しやる気満々で試合に臨んだ」そんな姿をこの総体で見せてもらいました。

一球一球に、一本一本に、一試合一試合に出雲農林高校の代表として試合に臨む君たちの熱い思いを感じることができる素晴らしい大会でした。時に手に汗握り、時に大声を張り上げ、時にため息をつくといった場面が多々ありました。君たちにとっても一生忘れえぬ大会であったことと思いますが、私にとっても一生忘れえぬ思い出になりました。感動をくれた選手諸君に心からお礼を言います。「ありがとう」

総体に出場した人、出場していないけれど一生懸命応援してくれた人、学校に残って校内掃除をしてくれた人。それぞれがそれぞれの役割をしっかりと果たした総体でもあったと思います。総体に出場した人は、応援してくれた友人、後輩、保護者のみなさん、指導をしてくださった先生方に対する感謝の気持ちを。応援をしてくれた人、校内掃除をしてくれた人は、出雲農林高校を代表して頑張り、感動をくれた出場選手に感謝の気持ちを。お互い感謝の気持ちを大切にして、次なる新たなステージに向かってほしいと願っています。

12年ぶりに大会新記録を出したウエートリフティングの動物3年の北村さんは、新聞にこうコメントをしていました「努力した分が結果につながる」と。スポーツの世界では努力すれば必ず勝てるというものではありませんが、努力したもののだけが最後の栄冠を手にはしていることは間違いないことです。

「一日進歩三日で退化」非常に含蓄のある言葉を環境2年の米山君から教わりました。努力をすれば一日一日進歩をしていく。しかし、いったんその努力を怠ってしまえばこれまで何日も、何カ月も、何年も積み上げてきたものはたった三日で退化してしまう。たゆまぬ努力のみが君たち、私たちの進歩を保障してくれるものだということです。

総体でのみなさんの健闘を讃えるとともに、今後の様々な場面でのたゆまぬ努力を期待しています。ご苦労様でした。
